

## 自治会情報交換会の経緯

第1回 平成23年1月18日 ～自治会運営で今、困っていること～

(1)相川俊雄さん(つくし座)のお話

(2)自己紹介を兼ねて自治会の課題を話し合う

【成果】情報交換会を実施するにはテーマを決めて行うことの必要性を確認。

【課題】自治会の課題が多岐に渡り、話合いの時間が不足だった。

第2回 平成23年3月9日 ～自治会の活性化が地域づくりのカギ～

(1)役員の選出と退会防止策

(2)一人暮らしの高齢者増加に対する取り組み

【成果】高齢者対応で、つくし座自治会より SOS カードの紹介。「さつきが丘」「さちが丘1丁目」「和良比西」「都賀の台(千葉市)」などが取り入れた。

【課題】大規模自治会地域で自治会未組織の地域がある。

鷹の台1丁目 H24.4 に 81 番目の自治会として発足。

第3回 平成23年6月14日

(1)東日本大震災時の自治会の対応や活動について

(2)情報交換したいこと

【成果】

- 1.自主防災組織の結成「さつきが丘」「和良比西」「美しが丘1丁目」「美しが丘2丁目」
- 2.萱橋台区が初めての防災訓練を行った。
- 3.«千葉市都賀の台»自治会が参加。以降、「習志野」「花見川東部」「若葉区若松台」「富里市日吉台」なども参加。

【課題】大震災対応は大きすぎるテーマで、時間が不足した。

第4回 平成23年9月13日

(1)役員のあり方(役員の任期は何年が好ましいのか?)

(2)自治会として団体活動に配分する補助金制度や自治会費徴収額など 2 つのテーマをグループに分かれて討議

【成果】

- 1.会費の徴収と配分のアンケートに 56 自治会から回答頂いた。
- 2.«さつきが丘»自治会が「つくし座»の SOS カードを参考にアンケート調査を実施。

【課題】役員の任期は複数年がベターだが、役員のなり手が無いのが問題。

第5回 平成23年12月13日

(1)災害時要援護者避難支援制度の申請書で自治会が記入する避難支援者の項について

(2)自治会の未加入者の加入促進について

(3)夜間安全パトロールについて

【成果】「つくし座»自治会のアドバイスから各自治会で災害時要援護者避難支援制度への

協力意識が出来てきた。

【課題】各区・自治会に依頼した要援護者の手挙げ方式の記載事項に対して抵抗を感じると  
いう意見が多くあった。

#### 第6回 平成24年6月13日 ～自治会は、ここまでできる～

(1)事例紹介 「稲毛スカイタウンの運営について」

【成果】

- 1.朝市でのコミュニティの場を参考にしたいという意見がでた。
- 2.電電栗山自治会が自治会館に「いきいきサロン」を設けた。

【課題】マンションでの活動は参考にならないという意見が多く、戸建住宅地とマンション、  
大団地と小規模住宅地、商業地と農村部など住環境の違いの課題がある。

#### 第7回 平成24年9月12日

(1)自治会への加入促進方策 事例紹介 「旭ヶ丘自治会及び馬洗区自治会」

(2)自主防災組織の活動内容 事例紹介 「四街道団地自治会及び電電栗山自治会」

【成果】自治会加入促進策としては役員が個別訪問して勧誘すること。

【課題】個人情報保護法が邪魔をする。

#### 第8回 平成25年1月27日

(1)高齢化に取り組んでいる区・自治会の事例紹介

- ・四街道一区「共栄フリーマーケットでかつての地域コミュニティを再生」
- ・萱橋台区「子どもさんから高齢者まで参加イベント開催及びチェリーコート四街道との連携取組み」
- ・電電栗山自治会「自治会館を活用したサロンを開設し、生きがいつくりや介護予防に寄与し、安心安全のネットワークをめざす取組み」

(2)ワークショップ (6グループに分かれて自由な議論)

- ・高齢化について、何が課題になっているか
- ・区・自治会でどのような取組みができるか

【成果】ワークショップは議論の進め方として評価を頂いた。時間が不足の意見あり。

【課題】高齢化対策(対応)は自治会活動の最大の課題。議論だけでなく、実践に結びつく取組みが必要。